

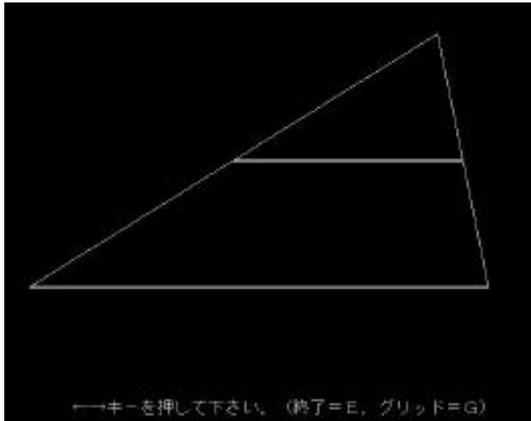


中点連結定理を利用して、台形の辺の長さに関する性質を証明するには

25170 中点連結定理の利用 (三角形から台形)

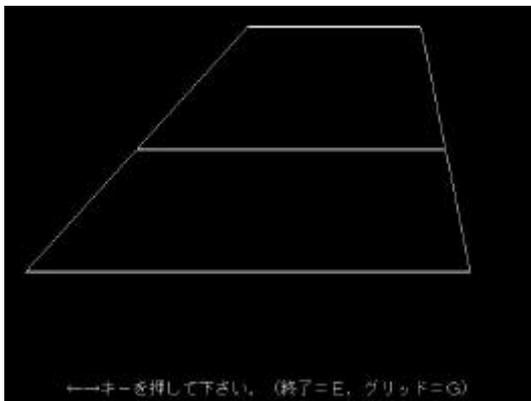
台形の平行でない辺の中点を結んだ線分は、上底と下底との和の半分になりそのようなことをとらえさせることができるソフトである。

初期画面



- ・矢印キー()を押すと、台形ができる。

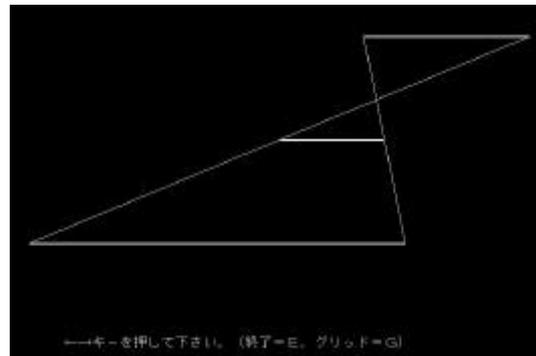
台形を表示する。



台形の平行でない2辺の中点を結んだ線分について、常に言えそうなことを見つけさせる。

中点連結定理を活用して図形の性質を証明させる練習問題として取り扱いたい。

発展として。



- ・台形にならない場合についても、線分の長さに着目させて、常に言えそうなことを証明させたい。

Gを押して、グリッドを表示すると、動点がグリッド上を動くため、数値を読みとりやすい。

ポイント

台形の中点を結んだ線分が上底・下底と平行になることを、補助線を利用することで明らかにさせたい。